

第 167 回 東京都小平市の相良丰光像

筆者：林 久治（記載：2021 年 9 月 30 日）

（1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気促な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\)のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張って人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」と言う意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいますので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

武漢肺炎による自粛生活で家に籠っていると、運動不足で体重が増加するし、精神的にも圧迫を感じる。私の銅像探索は不要不急の活動ではなく、私の生存に必要不可欠である。私は武漢肺炎の 2 回目のワクチンを 6 月 19 日に接種したが、それまでは自宅の近場で銅像探索を行っている。私は 6 月 28 日に最近建立されたばかりの志村像を探索し、その探索記を [161回の記事/f](#) に記載した。

東京五輪一パラの開催期間には、東京都の感染者数は 4-5 千人となったが、閉会すると二千人以下に収まっている。やはり、五輪の影響が絶大だったのは明白である。銅像探索に関しては、私は近場で混雑していない所を選んでいる。8 月 2 日には大阪府中央区で、3 日には京都市の壬生寺で探索を行った。京都の探索記を [162回の記事/f](#) に、大阪市の探索記を [163回の記事/f](#) に記載した。

8 月下旬は東京では残暑が未だ厳しく、武漢肺炎の感染者数も多かったため、私は自宅で自粛していた。9 月 1 日には急に涼しくなり感染者も少し減ったので、早川徳次像と藤澤義雄像を探索して、その探索記を [164回の記事/f](#) に記載した。東京は、それ以後も涼しかったが、雨模様の天候が続いた。8 日には少し晴れ間があったので、私は杉並区の庭野日敬像、長沼妙佼像、および今井政吉像を探索した。前者の 2 像の探索記を [165回の記事/f](#) に、今井像の探索記を [前回の記事/f](#) に記載した。

9 月 25 日は急に涼しくなり、患者数も 300 人/日に激減しているため、久しぶりに銅像探索に行った。場所は小平市の玉川上水の傍にある曙光園に設置されている相良丰光（さがら・よしみつ）像である。本像は [1\)のサイト/](#) に収録されていない。本稿は相良像の探索記である。なお、本稿では資料からの引用を **緑文字** で、私の注釈や意見は **青文字** で記載する。

（2）小平市曙光園の周辺地図

曙光園（しょうこうえん、東京都小平市小川町 1 丁目 590）は「社会福祉法人 全国スモンの会」が運営する障害者支援施設である。本園と小平西高校の周辺地図を次ページの図 1 に示す。（本文は、3 ページに続く。）



図1. 上：小平西高校の周辺地図 本図は、[2\) のサイト/1](#)より借用。①：小川消防出張所前、②：小平西高校、③：百石橋、④曙光園。

下：百石橋と曙光園の周辺地図 本図は、[3\) のサイト/0](#)より借用。

図1に示すように、曙光園（図1上の④地点）は小平西高校（図1上の②地点）の近くにあり、両者の最寄り駅は西武拝島線の東大和駅である。従って、当駅から曙光園に行く場合、小平西高校を目指して行けばよい。私は次のルートで本園に行った。

- ① 東大和駅から青梅街道を歩いて小川消防出張所前（図1上の①地点）に行った。この間、徒歩で約10分である。
- ② 小川消防出張所前で右に曲がり、「若葉東通り」を約10分歩くと小平西高校（図1上の②地点）に着いた。
- ③ 同校の南側に「玉川上水」があり、そこに「百石橋」（図1上の③地点）が架かっていた。（なお、図1上にある「くぬぎ橋」は撤去されていた。）
- ④ 百石橋の北側に小公園（きつねっばら公園）があり、その奥に曙光園（図1上の④地点）があった。

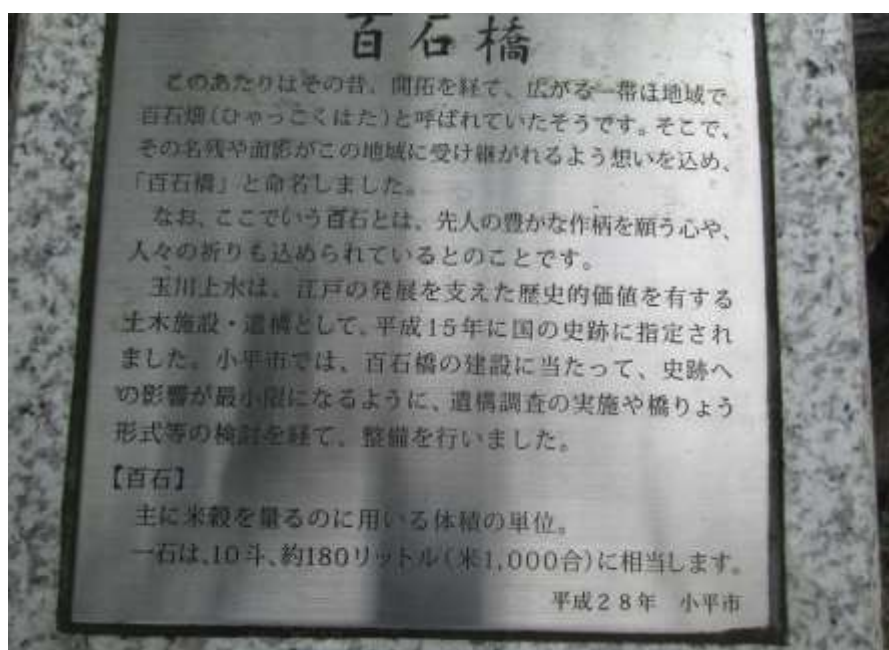


図2.

上：百石橋の説明プレート

下：きつねっばら公園の標石



図2上に百石橋の説明プレートを、図2下にきつねっばら公園の標石を示す。前者には、次のように書かれていた。

百石橋

このあたりはその昔、開拓を経て、広がる一帯は地域で百石畑（ひゃっこくはた）と呼ばれていたそうです。そこで、その名残や面影がこの地域に受け継がれるよう想いを込め、「百石橋」と命名しました。

なお、ここでいう百石とは、先人の豊かな作柄を願う心や、人々の祈りも込められているとことです。

玉川上水は、江戸の発展を支えた歴史的価値を有する土木施設・遺構として、平成15年に国の史跡に指定されました。小平市では、百石橋の建設に当たって、史跡への影響が最小限になるように、遺構調査の実施や橋りょう形式等の検討を経て、整備を行いました。

【百石】

主に米穀を量るのに用いる体積の単位。一石は、10斗、約180リットル（米1000合）に相当します。
平成28年 小平市

なお、[4\)のサイト/](#)には次のような記載がある。

平成28(2016)年3月に全線開通した、小平都市計画道路3・4・233号線（若葉東通り）の整備に伴い、玉川上水に架橋した「百石橋」の橋名由来柱を設置しました。

また、[5\)のサイト/1](#)によれば、「きつねっばら公園」は小平市が設置した「こどもキャンプ場」である。本公園の奥に曙光園があり、その建物の前庭には一基の胸像が設置されていた。その写真を図3にしめす。



図3. 曙光園に設置された胸像

(3) 曙光園と相良丰光像

[6\) のサイト/](#)に、曙光園の概要と歴史が次のように書かれている。

曙光園はスモン患者が自分自身の力で克ち取った施設です。月日は流れ、現在の施設利用者はスモンの方々から、脳血管障害を主な原因とした身体障害者の方々になりました。しかし、施設の志は設立の時と変わらず、一人ひとりの思いに寄り添った支援に取り組みます。そして、地域に愛され、皆様から選んで頂ける施設を目指してまいります。

1964年：埼玉県戸田市で多発した原因不明の神経疾患は、その後全国に波及、その症状(subacute myelo-optico-neuropathy =SMON=)から「スモン」と呼ばれるようになった。「原因はウイルス感染」と報道され、患者は社会的疎外を受け、窮地に立たされた。

1969年：原因究明のため「厚生省スモン研究班」始動する。患者は、相良丰光をリーダーに「全国スモンの会」を結成する。

1971年：国、製薬会社を相手に損害賠償請求を提訴。

1972年：裁判で「原因はキノホルム」と断定され、薬害であることが立証された。

1977年：和解が成立。

1979年4月：「スモンはエンドレス」と、は自立福祉論を展開し、社会福祉法人「全国スモンの会」の認可を受けた。

1982年7月1日：重度身体障害者更生援護施設「曙光園」を開設し今日に至る。

1982年11月20日：曙光の塔建立、除幕。



図4. 曙光の塔

曙光

長いこと恐ろしく病苦にさいなまれて、それにも拘らず、そのさい悟性の曇らない病人の状態は認識にとって価値がなくはい……

苦痛に抵抗しようとする知性の巨大な緊張は彼がいまながめやるすべてのものを、ある新しい光のうちに照らし出さしめる。だから、あらゆる新しい照明があたえる言いしれない魅力は、しばしば自殺への誘惑をすべて制止して、生きながらえることを病人に最も望ましいものと思われるに足るだけの強力である。

ニーチェの『曙光』より



図5. 相良丰光会長之像

胸像の写真を図5に示す。台座正面に題字があり、本像背面には制作者の著名が彫られていた。それらの写真を図6に示す。題字には「相良丰光会長之像」とあり、署名には「1982 立体写真像 発明者盛岡勇夫作」とあった。本像の前には、「相良丰光（さがら・よしみつ）年表」と題する案内板が設置されていた。その写真を次ページの図7に示す。なお、私は「丰」という文字を今回初めて見た。ウィクシヨナリー日本語版には、次のように書かれている。

丰：封の原字、草の穂が（三角形に）茂るさま。丰（逢の原字、峰、鋒、蜂の音符）、邦、豊の音符となる。意義：豊かに茂る様。（現代中国）「豊（豊）」の簡体字。音読み

呉音：フウ、漢音：ホウ、訓読み：みめよ-い、しげ-る。

現代中国語では「豊臣秀吉」を「丰臣秀吉」と書くそうである。



図6. 左：台座正面に題字、右：本像背面の制作者の著名

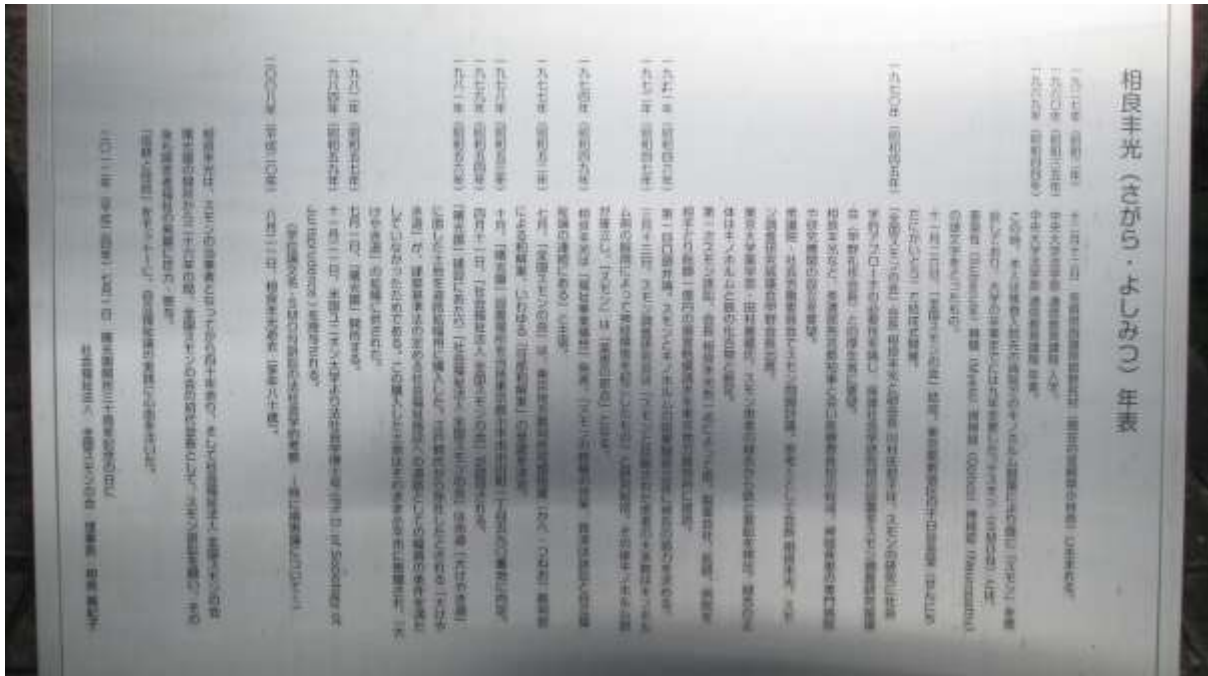


図7. 「相良丰光 (さがら・よしみつ) 年表」と題する案内板

本案内板には、次のように書かれていた。

相良丰光 (さがら・よしみつ) 年表

- 1927年：12月12日 宮崎県西諸県郡野尻村（現在の宮崎健小林市）に生まれる。
- 1960年：中央大学法学部通信教育課程入学。
- 1969年：中央大学法学部通信教育課程卒業。
- この時、本人は検査入院先の病院でのキノホルム服薬により既に「スモン」を発症しており、大学の卒業までには九年を要した。スモン (SMON) とは、亜急性 (Subacute) 脊髄 (Myelo) 視神経 (Optico) 神経症 (Neuropathy) の頭文字をとったもの。11月26日「全国スモンの会」結成。東京都新宿区の千日谷会堂 (せんにかだにかいどう) で結成式開催。
- 1970年：「全国スモンの会」会長相良丰光と副会長川村佐和子は、スモンの研究に社会的アプローチの必要性を論じ、保健社会学研究班の設置をスモン調査研究協議会 (甲野礼作会長) と旧厚生省に要望。相良丰光など、美濃部亮吉都知事と会い医療費負担の軽減、神経疾患の専門病院や研究機関の設置を要望。衆議院・社会労働委員会でスモン問題討論。参考人として会長相良丰光、スモン調査研究協議会甲野会長出席。東京大学薬学部・田村善蔵氏、スモン患者の縁舌から鉄と亜鉛を検出。縁舌の正体はキノホルムと鉄の化合物と断定。第一次スモン訴訟、会長相良丰光他一名によって国、製薬会社、医師、病院を相手どり総額一億円の損害賠償請求を東京地方裁判所に提訴。
- 1971年：第一回口頭弁論。スモンとキノホルムの因果関係立証に被告の協力を求める。
- 1972年：3月13日、スモン調査研究は「スモンと診断された患者の大多数はキノホルム剤の服用によって神経障害を起こしたもの」と研究総括。その後キノホルム説が確立し、「スモン」は「薬害の原点」となる。
- 1974年：相良丰光は「福祉事業構想」発表。「スモンの終局の対策、救済は訴訟と自立福祉論の連続にある」と主張。
- 1977年：七月、「全国スモンの会」は、東京地方裁判所可部恒雄 (かべ・つねお) 裁判官による和解案、いわゆる「可部和解案」の受諾を決定。

1978年：十月、「曙光園」設置場所を、当地東京都小平市小川町一丁目 590 番地に内定。

1979年：4月11日、「社会福祉法人全国スモンの会」が認可される。

1981年：「曙光園」建設にあたり「社会福祉法人全国スモンの会」は市道「大げやき道」に面した土地を道路拡張用に購入した。江戸時代から存在したとされる「大げやき道」が、建設基準法の定める社会福祉施設への道路としての幅員の条件を満たしていなかったためである。この購入した土地はそのまま小平市に寄贈され、「大げやき道」拡幅に供された。

1982年：7月1日、「曙光園」開所する。

1984年：11月21日、米国ユニオン大学より法社会学博士号（Ph.D. of Sociology of Jurisprudence）を授与される。（学位論文名・SMON 訴訟の法社会学考察…特に損害論について…）

2008年：8月21日、相良丰光逝去（享年 80 歳）。

相良丰光は、スモンの当事者となってから 40 年余り、そして社会福祉法人全国スモンの会曙光園の開所から 26 年の間、全国スモンの会の初代会長として、スモン訴訟を闘い、その後も障害者福祉の発展に尽力・寄与。「信頼と団結」をモットーに、自立福祉論の実践に心血を注いだ。

2012年7月1日 曙光園開所 30 周年記念の日に

社会福祉法人全国スモンの会 理事長 相良真紀子

相良氏の経歴は、ネット上には上記の年表以上の記事が存在しない。従って、私には次のような疑問が生じる

- ①上の年表によれば、相良氏は 33 歳で中大に入学している。それまで、何処で何をされていたのでせうか？
- ②相良氏は中大の通信教育課程に入学されている。これは、働きながら大学に通っていることを意味する。それなら、どんな仕事をされていたのでせうか？
- ③相良氏は中大在学中にスモンに罹り、卒業までには九年を要している。病状はどの程度だったのでせうか？難病に罹り、生活費をどのように工面されていたのでせうか？
- ④相良氏が大学を卒業した年に「全国スモンの会」が結成され、彼は会長に選出されている。大学を出だての方が、なぜ会長になられたのでせうか？
- ⑤相良氏を中心として、スモン訴訟が提訴されたのであるが、彼等は訴訟費用をどのようにして工面したのでせうか？また、訴訟中の生活費はどうしたのでせうか？
- ⑥相良氏は 80 歳まで長生きをされている。彼はスモンから完治されたのでせうか？また、どんな治療をされたのでせうか？

以上の資料などにより、相良像の概要は次の通りである。

相良丰光会長之像

設置場所：東京都小平市小川町 1 丁目 590 曙光園前庭

設置時期：1982 年

制作者：盛岡勇夫（立体写真像発明者）

設置経緯：相良丰光氏（さがら・よしみつ、1927 - 2008）は宮崎県出身で、中大在学中に難病のスモン病に罹りました。原因不明、伝染、奇病と言われ、社会から疎外されたスモン患者が力を合せて全国スモンの会を結成したのは昭和 44 年 1 月 26 日。相良氏が初代会長となり、スモン訴訟を起こしました。

(4) 玉川上水

曙光園の付近には有名な玉川上水が流れている。その地図を図8上に示す。本図は多少古く、百石橋もその付近の道路拡張部分も書かれていない。曙光園そばの道路(黒い線)が「大げやき道」である。

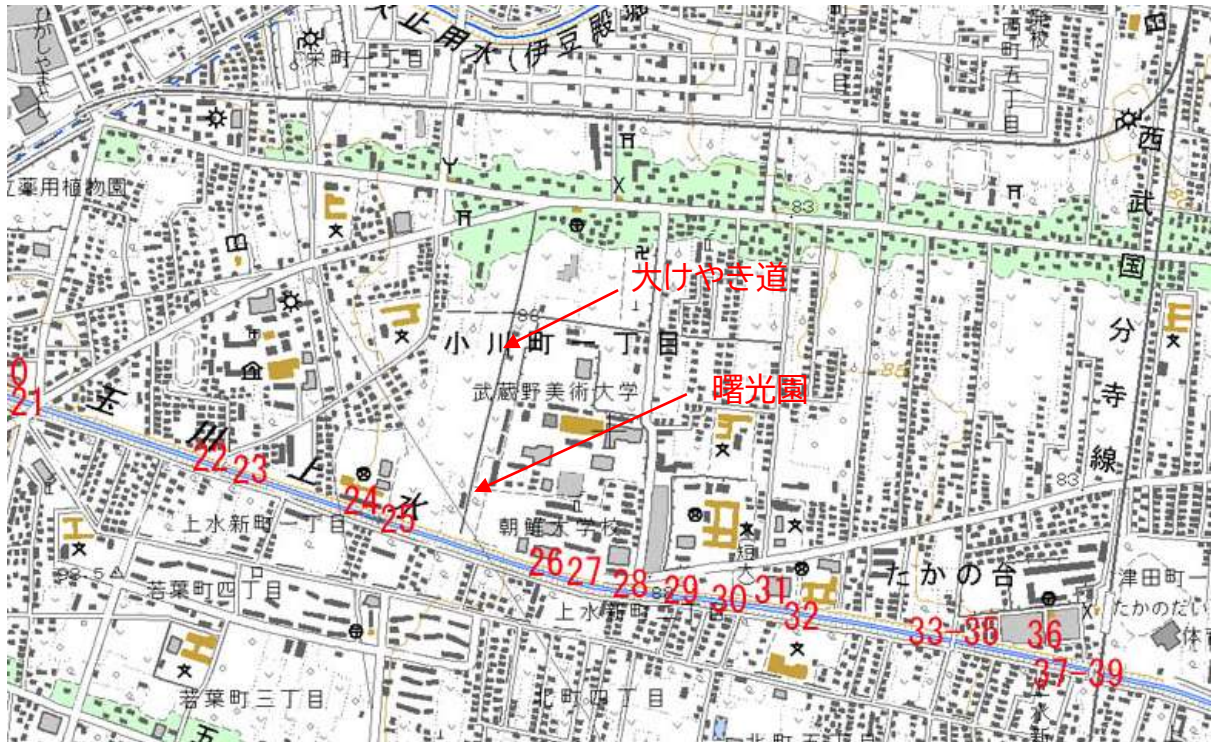


図8. 上：この付近の玉川上水の地図 (7) のサイト/m)、下：玉川上水の風景。

私は、以前に玉川上水に来たはずであるが、老人になってその記憶は全く残っていないかった。今回、私が撮影した玉川上水の風景の一つを図8下に示す。沿道は武蔵野の風情が残る高い木々が植わっていた。この付近は、かつては武蔵野の一部であったが、現在は都会の中のオアシスとして都民に親しまれている。玉川上水の紹介は[7\)のサイト/m](#)や[8\)のサイト/](#)が優れている。

参考資料

- 1) のサイト : <https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト : <http://www.kodairanishi-h.metro.tokyo.jp/home/access.html>
- 3) のサイト : <https://mapfan.com/spots/SWYW,J,4G6V0>
- 4) のサイト : <https://kawayura.com/2020/04/2746/>
- 5) のサイト : <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001338.html>
- 6) のサイト :
<http://shokouen.or.jp/shokouen/%e6%9b%99%e5%85%89%e5%9c%92%e3%81%ae%e6%ad%b4%e5%8f%b2/>
- 7) のサイト : <https://kk810558.sakura.ne.jp/tamagawajousui2.htm>
- 8) のサイト : <http://kousuke.in.coocan.jp/tamagawajousui/>